

2015年度 決算説明会

2016年6月3日

新関西国際空港株式会社

次第



- I 2015年度の決算概要について常務取締役兼常務執行役員 竹嶋 孝育
- 事業運営権の売却について執行役員山口 勝弘
- Ⅲ 質疑応答



I 2015年度の決算概要について

1. 空港運営の概況

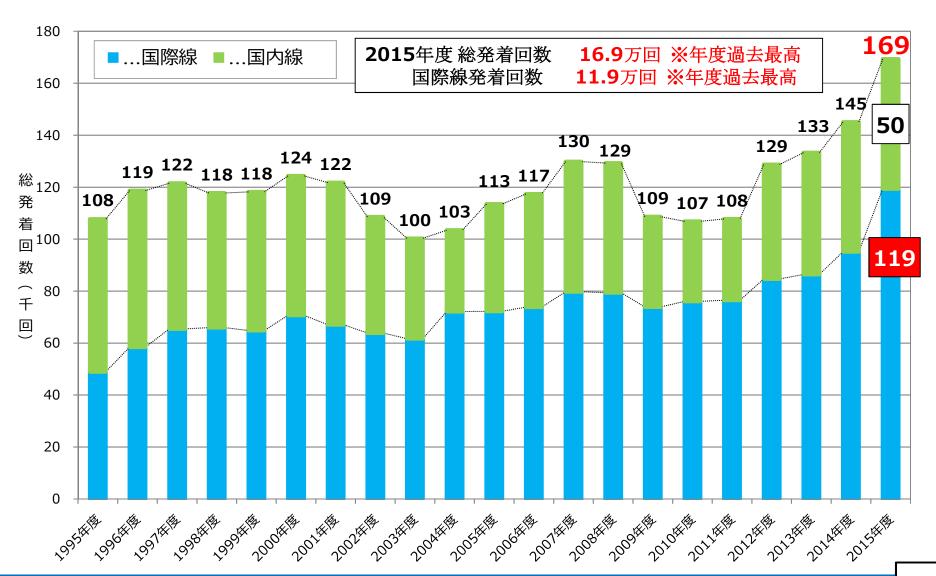


		関	西国際空	港	大阪国	国際空港(伊丹)
		2014年度	2015年度	前年比	2014年度	2015年度	前年比
航空機発着回数(万回)		14.5	<u>16.9</u>	117%	13.9	14.0	100%
	国際線	9.5	<u>11.9</u>	125%	_	_	_
	旅客便	7.9	<u>10.4</u>	131%	<u>—</u>	<u>—</u>	_
	(FSC・フルサーヒ、スキャリア)	6.2	7.2 3.1	117%	_	_	_
	(LCC・ローコストキャリア)	1.7	<u>3.1</u>	180%	_	_	_
	貨物便	1.4	1.4	94%	1	_	_
	国内線	5.0	5.0	100%	13.9	14.0	100%
航3	空旅客数(万人)	2,005	<u>2,405</u>	120%	1,462	1,463	100%
	国際線	1,352	1,727	128%	_	_	_
	日本人旅客	630	610	97%	_	_	_
	外国人旅客	699	<u>1,100</u>	157%	_	_	_
	通過旅客	23	17	75%	1	_	_
	国内線	653	678	104%	1,462	1,463	100%
貨物量(万トン)		74.1	70.0	94%	13.3	13.2	99%

(注)赤文字下線部は、開港以来最高値。

2. 関西国際空港 総発着回数の推移





3-1. 方面別便数の内訳(国際旅客便)



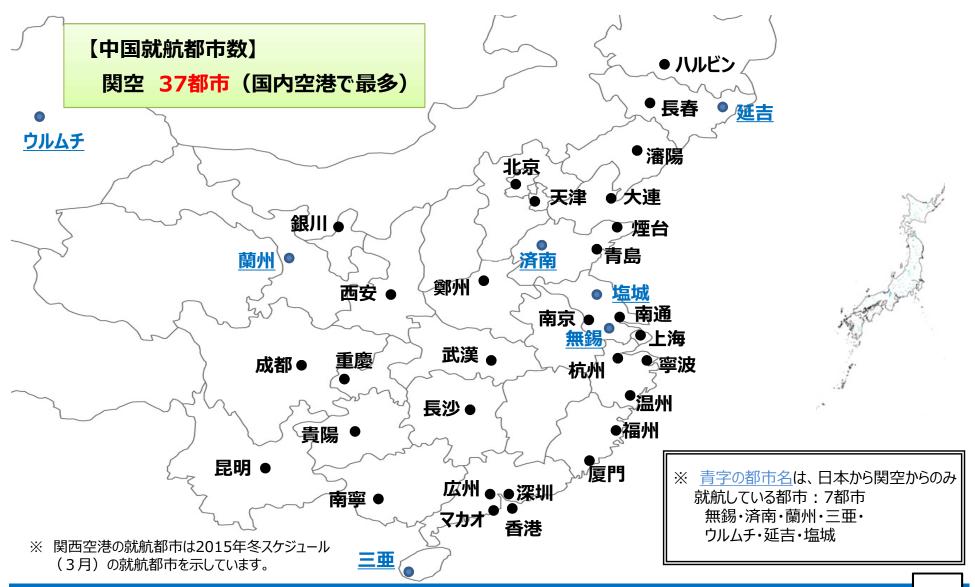
(便/调)

											(世/迴)
	2013冬	(都市数)	2014夏	(都市数)	2014冬	(都市数)	2015夏	(都市数)	2015冬	(都市数)	構成比
韓国	159	(3)	161	(3)	170	(3)	221	(4)	252	(4)	23.2%
中国	232	(19)	269	(21)	287	(25)	431	(41)	433	(37)	39.8%
台湾	90	(3)	106	(3)	105	(2)	133	(2)	165	(3)	15.2%
他アジア	112	(10)	107	(11)	113	(11)	122	(11)	124	(11)	11.4%
北米(ハワイ含む)	31	(3)	31	(3)	35	(3)	40	(4)	35	(3)	3.2%
欧州	38	(6)	40	(6)	36	(6)	35	(5)	29	(5)	2.7%
その他	64	(8)	61	(7)	56	(6)	52	(7)	50	(7)	4.6%
合計	726	(52)	775	(54)	802	(56)	1,034	(74)	1,088	(70)	100.0%
本邦社		3社		3社		4社		4社		4社	
外航社		51社		52社		56社		61社		63社	
就航会社		54社		55社		60社		65社		67社	

⁽注)中国方面には、中国本土、香港、マカオを含む。その他方面には、オセアニア、中東等が含まれる。

3-2. 中国定期便就航都市~2015冬スケジュール~





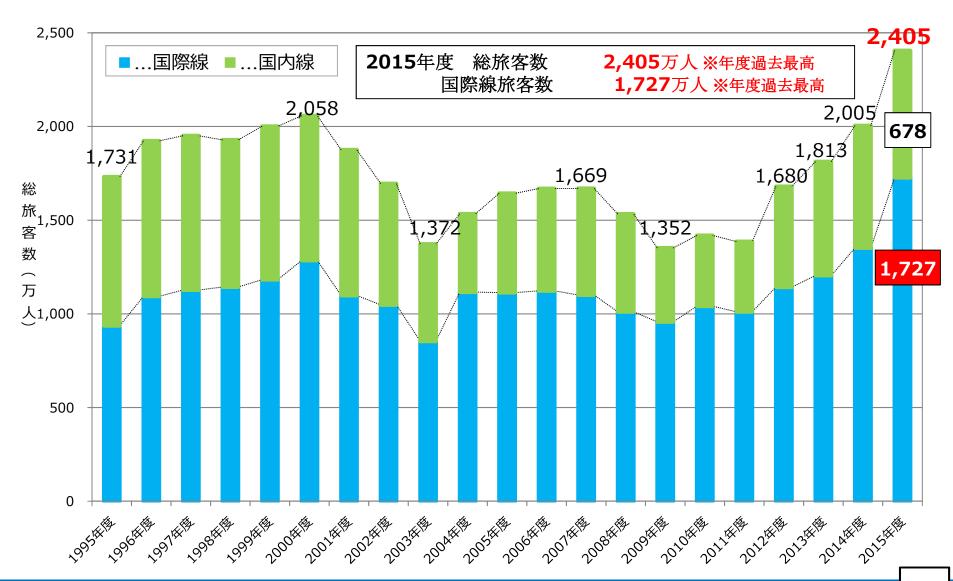
3-3. 国際線旅客便数の推移(LCCの動き)





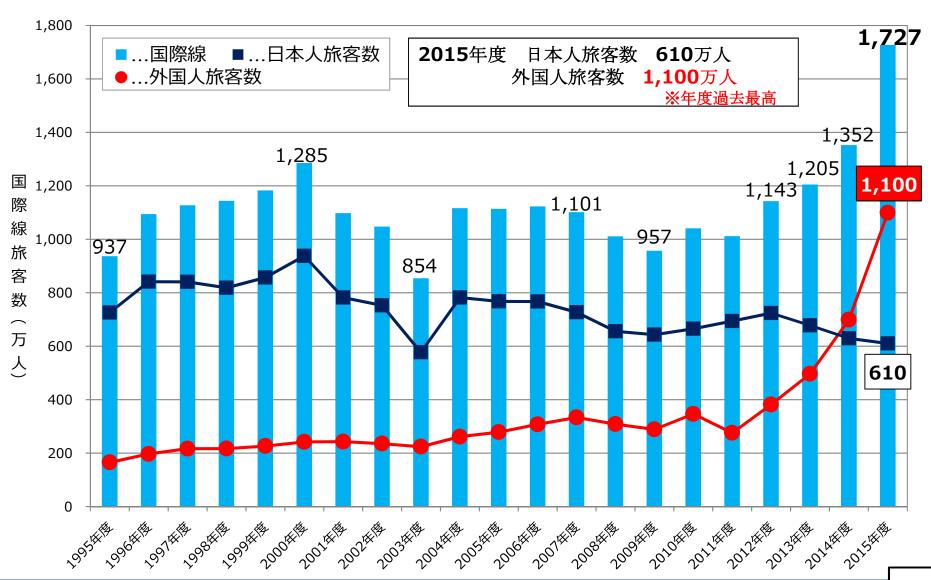
4. 関西国際空港 総旅客数の推移





5. 関西国際空港 国際線旅客数の推移





6. 関西国際空港のインバウンド旅客



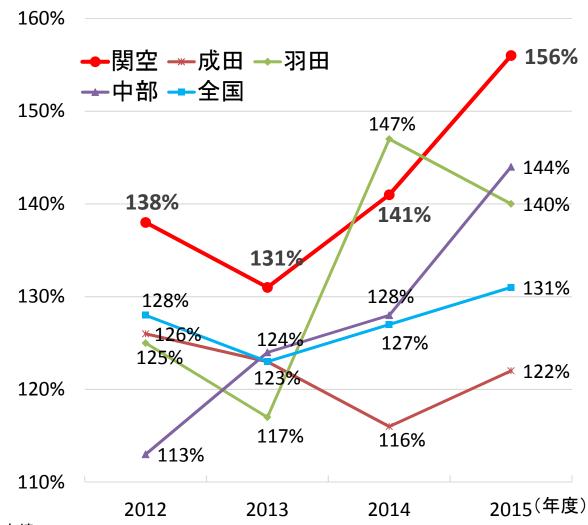
《外国人入国者数 (2015年度)》

港名	実績		
	(前年度比) 550万人		
関空	(156%)		
成田	632万人		
)) <u>(</u>	(122%)		
羽田	275万人		
1111	(140%)		
中部	111万人		
	(144%)		
全国	1,560万人		
(関空除く)	(131%)		

出典:法務省出入国管理統計年報•月報

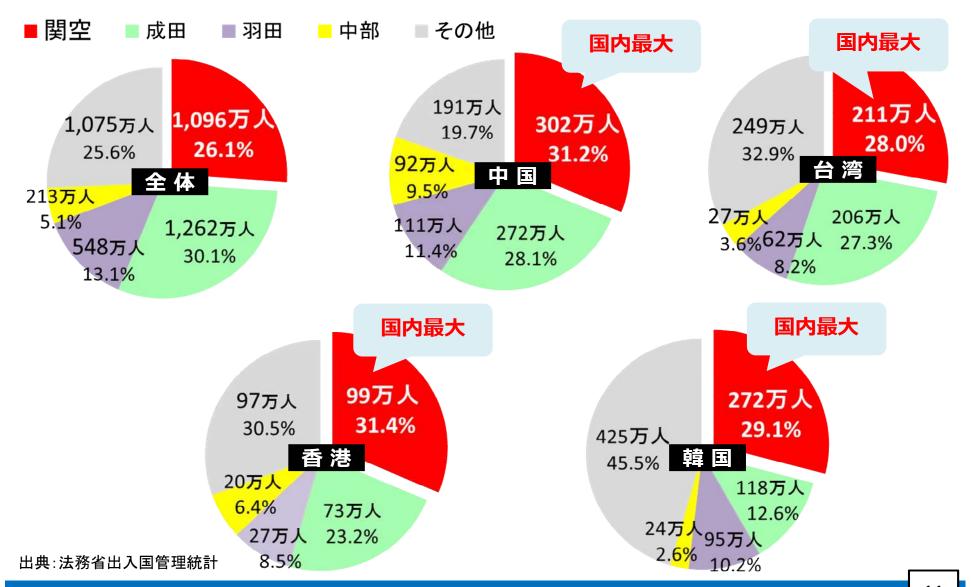
※全国実績は関西国際空港を除いた全国の港湾実績

《空港別 外国人入国者数の伸び率》



7. 外国人出入国者数のシェア(2015年4月~2016年3月)





8. 経営成績(連結損益計算書)の概況



(単位:億円)	2014年度	2015年度	増減	前年比
営業収益	1,538	1,846	307	120%
営業費用	1,096	1,253	157	114%
営業利益	443	593	150	134%
経常利益	333	477	144	143%
親会社株主に帰属する当期純利益	196	294	98	150%

9. 経営成績(連結損益計算書)の比較 [2014年度~2015年度・経常利益まで]



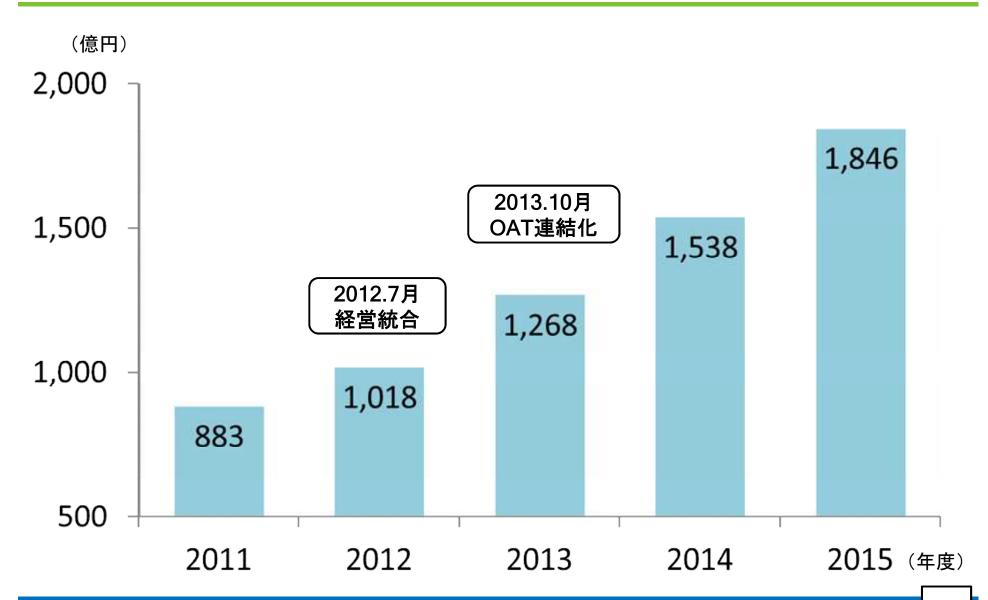
(単位:億円)	2014年	F度	2015£	F度
	前年比			前年比
営業収益	1,538	270	1,846	307
空港運営事業	790	35	868	78
関西空港	666	38	746	80
大阪空港	124	A 3	121	▲ 2
商業事業	446	102	661	215
関西空港	432	101	647	215
大阪空港	14	1	14	0
鉄道事業	41	1	45	4
OATグループ	376	211	474	98

	2014年	F度	2015年	F度
		前年比		前年比
営業費用	1,096	153	1,253	157
売上原価	267	87	382	115
施設運営等経費	577	64	632	55
減価償却費	251	3	238	▲ 13
営業利益	443	116	593	150
営業外収益	23	▲ 21	3	1 20
うち政府補給金	20	▲ 20	1	▲ 20
営業外費用	133	▲ 18	119	▲ 14
うち支払利息	130	▲ 18	114	▲ 15
経常利益	333	114	477	144

(注)連結相殺前の数字であるため、営業収益合計と各収益の合計が一致しない箇所あり。

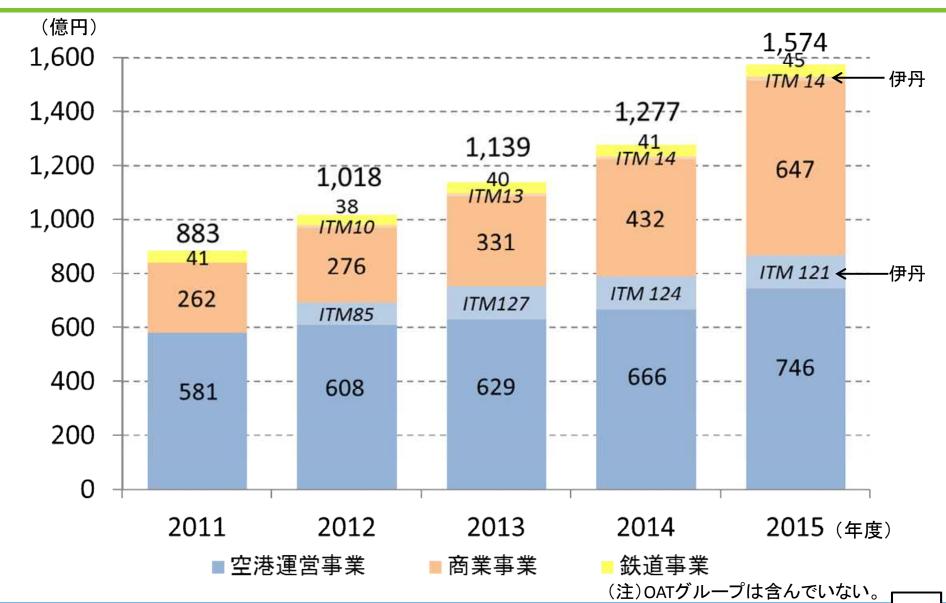
10. 営業収益の推移





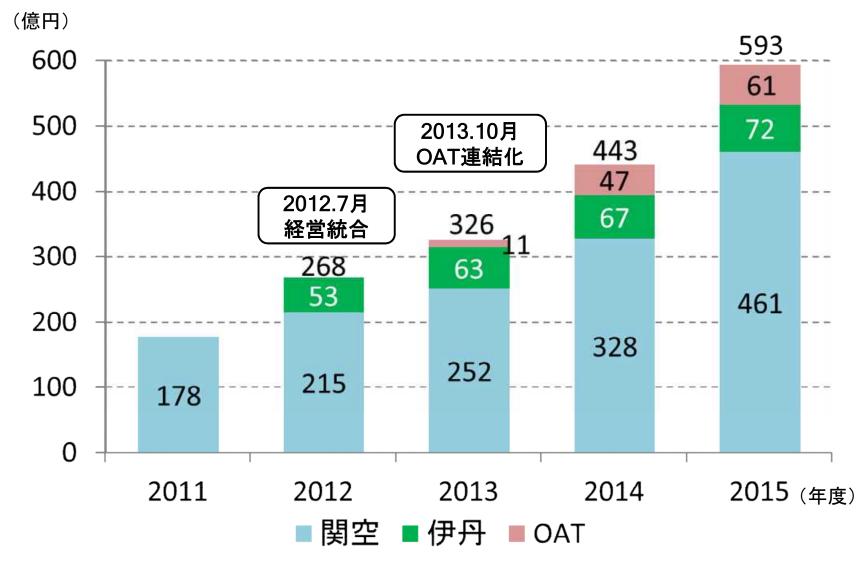
11. 事業別 営業収益の推移





12. 営業利益の推移





(注)各営業利益は、連結相殺前の数字であるため、営業利益合計と一致しない箇所がある。

13. 財政状態の概要(連結貸借対照表)



(単位:億円)	2014年度 期末	2015年度 期末	増減
流動資産	431	2,507	2,076
固定資産	19,309	19,161	▲ 148
資産合計	19,740	21,668	1,928
流動負債	1,458	1,776	318
固定負債	10,224	11,486	1,262
負債合計	11,683	13,263	1,580
株主資本	5,944	6,238	294
非支配株主持分他	2,113	2,167	54
純資産合計	8,057	8,405	348
負債•純資産合計	19,740	21,668	1,928

14. 新関西国際空港株式会社の主な取組み



○経営基盤安定・強化

大阪国際空港及びOATの経営統合

○航空成長

- LCC専用ターミナルの整備
- LCCの誘致
- 着陸料割引等の料金戦略
- 伊丹プロペラ枠の低騒音ジェット化

○商業事業成長

- T1リノベーション等の魅力ある商業エリアの創造
- 大阪空港ターミナルビル改修

○インバウンド対応

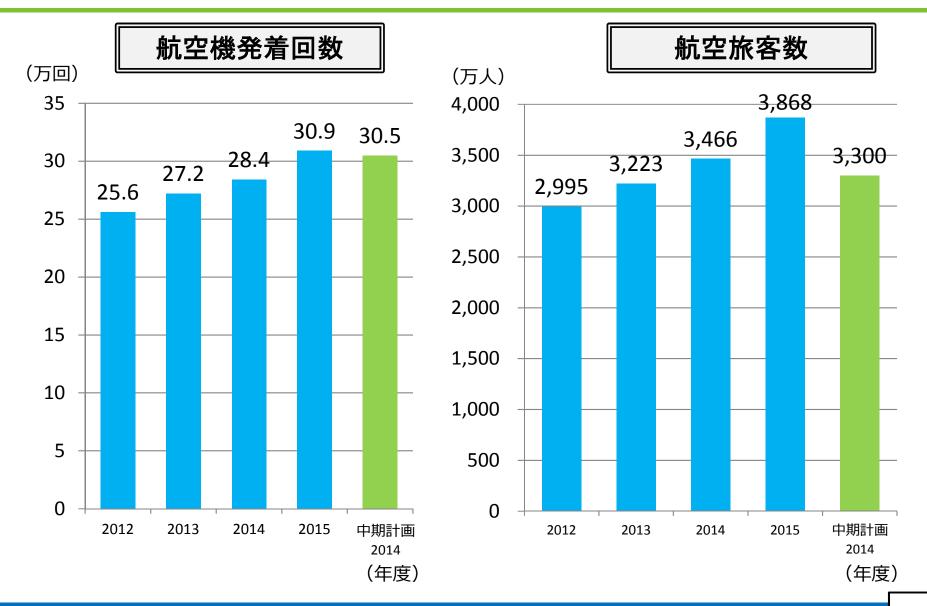
- 夜間待合所オープン ファーストレーン設置 保安検査所拡充
- 入国審査ブース増設

○アクセス改善

- ・ 深夜時間帯のリムジンバス増便 ・ 鉄道との割安企画切符導入
- ○貨物輸送の取組
 - FedExの拠点化(北太平洋地区ハブ) 医薬品・食の輸出拡大のための取組
- ○環境先進空港
 - KIXメガソーラー発電開始 水素ステーション関空オープン

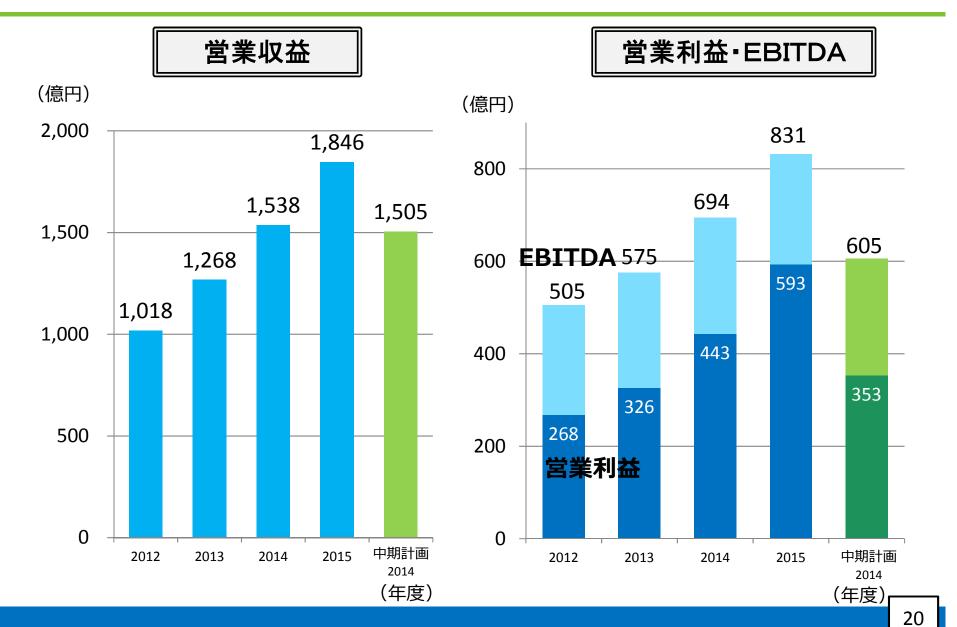
15. 運営実績の推移(中期経営計画との比較)





16. 経営成績の推移(中期経営計画との比較)





17. 2016年度の連結業績見通し(収支)

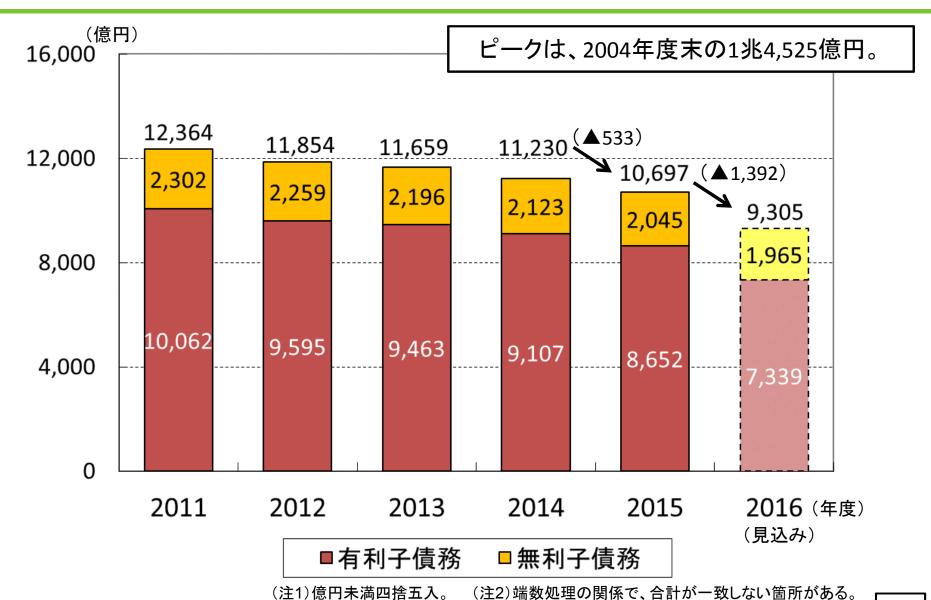


<2016年度 事業計画ベース>

(単位:億円)	2016年度見通し
営業収益	663
営業費用	417
営業利益	246
経常利益	158

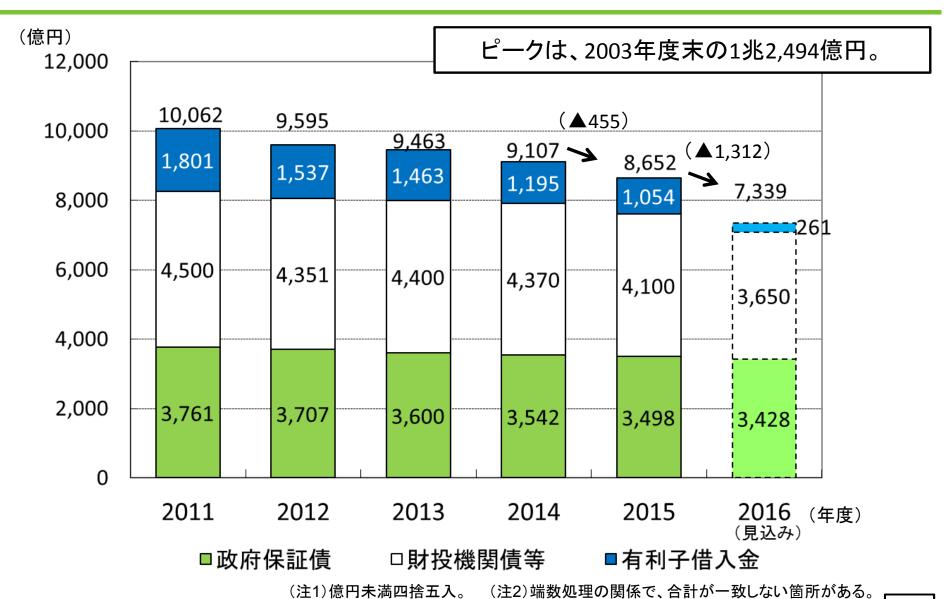
18. 債務残高の推移(連結)





19. 有利子債務残高の推移(連結)

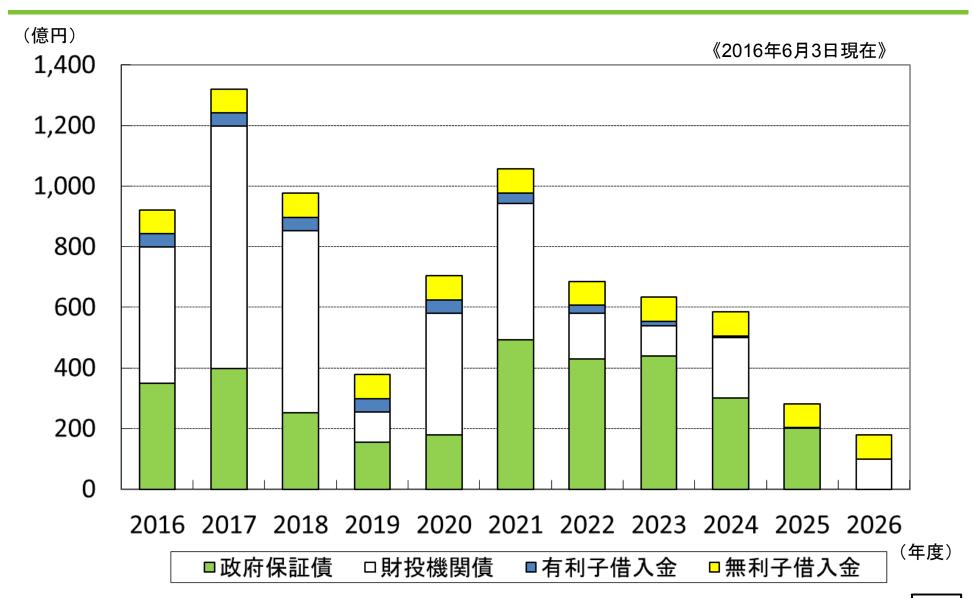




23

20. 既存債務の償還予定(連結・今後10年間抜粋)





21. 2016年度の資金調達予定額



区分	金額(億円)
政府保証債(10年)	280
財投機関債 等	
合計	280



Ⅱ 事業運営権の売却について

22-1. 事業運営権の売却(コンセッション)の概要



1. 実施の背景 ~なぜ、コンセッションを実施するのか?~

関西国際空港及び大阪国際空港の一体的かつ効率的な設置及び管理に関する法律 (2011.5.25 成立)

①コンセッションを通じた<u>関空債務の早期かつ確実な返済</u>



- ②関空の我が国の国際拠点空港としての機能の再生・強化
- ③関西における航空輸送需要の拡大による 我が国の国際競争力の強化・関西経済の活性化への寄与

2. コンセッションの概要

- ①当社は、関西空港及び伊丹空港の運営権(2016年4月から44年間)を民間事業者 (運営権者)へ売却し、その売却代金(運営権対価)により、既存債務を返済。
- ②コンセッション後は、運営権者が空港運営事業を実施(事業リスクが運営権者に移転)。
- ③コンセッション後も、資産(空港用地・滑走路・ターミナルビル等)は、当社が保有し、 運営権者による空港運営の適切性を確保するため、モニタリングを実施。

22-2. コンセッションの実施に伴う運営スキームの変化

営

権

売

却



[コンセッション前]

新関西国際空港(株)

関空・伊丹の運営

※空港の維持管理・運営事業、 商業事業、環境対策など

関空・伊丹の資産保有 (関空土地除く)

関空土地の 貸付



関空土地の 地代支払

関西国際空港土地保有(株)

新関空(株)に対する関空土地の貸付

関空土地の資産保有

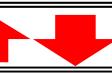
[コンセッション後(現状)]

関西エアポート(株)

関空・伊丹の運営

※空港の維持管理・運営事業、 商業事業、環境対策など

モニタリングイ



→運営権対価等支払

新関西国際空港(株)

関空・伊丹の資産保有(関空土地除く)

関空土地の 貸付



関空土地の 地代支払

関西国際空港土地保有(株)

新関空(株)に対する関空土地の貸付

関空土地の資産保有

22-3. 運営権対価の詳細と流れ



関西エアポート(株)

関空・伊丹での事業収益

※航空機の離発着、飲食・物販等



運営権対価 及び 固定資産税等負担金 等

(年間490億円相当)

この他、事業開始時に 1,750億円超の履行保 証金を差入。

収益連動負担金

年間収益が1,500億円を 超過時、超過額の3% (株主に還元可能な資金 の6%以内)を追加支払。

<u>年間490億円相当十 α </u>

期間中毎年支払 (総額約2.2兆円)

新関西国際空港(株)

既発債券の償還

借入金の返済

関空土地保有㈱に対する 関空用地の賃料支払

公租公課・ 各種経費支払

必要に応じて

債券発行・ 借入実施 による調達

22-4. コンセッション後における 当社債務の償還確実性に関する主なポイント



事業リスクは移転しつつ、 安定した収入を確保

これまでの償還原資は、空港事業収入であり、 経済情勢変化等によるダウンサイドリスクを 伴ったが、コンセッション後は、関西エアポート (株)から毎期一定額以上支払われる運営権対 価となり、収入の確実性・安定性が向上。事業 リスクを移転する一方で、1,750億円の履行保 証金を確保。

モニタリングを通じた 空港運営状況の的確な把握

当社は関西エアポート(株)に対し、事業計画、 業務報告、財務情報等に係る報告徴収を行う などモニタリングを実施するため、空港運営状 況を的確に把握できる(必要に応じ、業務改善 等について命令可。法令違反や要求水準未達 時は、運営権を解除することも可能)。

高い償還確実性

国策としての(法的根拠に基づく)コンセッションの実施と 国100%出資の形態を維持した当社の存続

関空伊丹統合法に基づく国策としてのコンセッションの実施であり、関空債務の早期・確実な返済や関空の国際拠点空港としての機能強化といった同法律の目的達成に向け、必要な措置の確実かつ円滑な実施は「国の責務」と明確に規定されており(第四条「国の責務」)、当社は国100%出資という現形態のまま存続するため、当社の国との距離感はこれまでと変わるものではなく、自己での資金調達を引き続き実施。

【本説明会に関するお問い合わせ】

新関西国際空港株式会社 総務部 経理グループ

<TEL>072-455-4047

<FAX>072-455-4090

<住所>

〒549-0011

大阪府泉南郡田尻町泉州空港中 1 番地

<ホームページ>

http://www.nkiac.co.jp/ [新関西国際空港(株)]

- ・本説明会は、当社の2015年度決算等について、投資家の皆様に情報提供することを 目的としたものであり、債券の募集または売出を意図したものではありません。
- 本説明会の資料にあります、将来の予測や見通し等に関する事項並びに数値は、 不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。